

2026

高等教育機関職員のための  
人材育成  
プログラム

14:00～16:00  
オンライン(Zoomミーティング)

加盟機関の教職員の皆さまと共に学び、その成果を日常業務に活かしていただけるよう、2026年も引き続き、高等教育機関が抱える課題や最新のトピックを取り上げた内容を準備しております。過去にご参加いただいた皆さまはもちろん、初めての方もぜひご参加ください。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第1回 6月19日(金)

大学教育と生成AI –タイプ志向と生成AIの相性とは？

和嶋 雄一郎(北陸大学 学長補佐(新学科設置・IR担当)/  
国際コミュニケーション学部心理社会学科 教授)

第2回 7月17日(金)

分散型リーダーシップから考える大学組織の人材育成  
–協働を生み出す育成設計と対話的实践–

村田 晋也(愛媛大学 教育・学生支援機構 講師)

第3回 8月21日(金)

発達障害の診断や傾向のある大学生への修学支援

佐々木 銀河(筑波大学 人間系 准教授)

第4回 9月18日(金)

大学の未来 地方の未来

吉見 俊哉(國學院大学 観光まちづくり学部 教授  
/ 東京大学 名誉教授)

第5回 12月11日(金)

教職員向け:心に悩みを抱えた人との関わり方

深尾 琢(岐阜大学 保健管理センター 教授)

問合せ先:

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 事務局  
(岐阜大学学務部教育連携課)

TEL: 058-293-2135 HP: <https://www.gifu-uc.jp/>

Human Resources Development

# 令和 8 年度人材育成プログラム【講義詳細】

第1回 6月19日(金) 和嶋 雄一郎(北陸大学 学長補佐(新学科設置・IR担当)/  
国際コミュニケーション学部 心理社会学科 教授)

## 大学教育と生成AI – タイパ志向と生成AIの相性とは？

大学生の多くが生成AIを活用するようになってきている。特にタイパ(タイムパフォーマンス)志向の学生は、レポート作成や情報収集などを効率化する手段としてAIを利用している傾向がみられる。本セミナーでは、学生がどのように生成AIを活用しているのか、それが学修の質や思考力にどのような影響を与える可能性があるのかといった点を考察し、これからの大学教育の在り方を検討する。

第2回 7月17日(金) 村田 晋也(愛媛大学 教育・学生支援機構 講師)

## 分散型リーダーシップから考える大学組織の人材育成

### – 協働を生み出す育成設計と対話的实践 –

分散型リーダーシップの視点をもとに、大学を専門職組織という観点から捉え、人材育成の在り方を参加者ととともに考える。リーダーシップを個人の資質ではなく、人と人との関わりの中で育まれるものとして捉え、協働を生み出すための育成のヒントを探る。さらに実践事例の分析や小グループでの対話を通して、教職員が部下や後輩、学生の主体的成長を支えるための具体的方策を共有する。

第3回 8月21日(金) 佐々木 銀河(筑波大学 人間系 准教授)

## 発達障害の診断や傾向のある大学生への修学支援

発達障害の基礎知識について、マンガを交えながらわかりやすく紹介する。また、改正障害者差別解消法を踏まえて、発達障害のある大学生への合理的配慮について事例を交えながらポイントを紹介する。その後、診断のない学生も含めた包括的な学生支援体制に向けて、筑波大学で提供している他大学等向けのサポートリソース等を紹介する。

第4回 9月18日(金) 吉見 俊哉(國學院大學観光まちづくり学部 教授 / 東京大学 名誉教授)

## 大学の未来 地方の未来

人口減少とデジタル化の中で、地域と大学はいかに協働できるのか？ 19世紀以来、「第二世代」の大学が目指したのは「研究と教育の一致」であった。しかし21世紀、「第三世代」の大学の指針は、「研究と教育と社会的実践の一致」にある。大学は、教室や実験室、図書館に閉じるのではなく、地域を社会的実践の現場とし、そこでの経験と教室での学びを有機的に結合させていく。デジタルは、地域間を跨ぎ、大学の学びが結ばれていくことを可能にする。東京集中とは異なる方向で、新しい「教師と学生の学びの共同体」を創造することは果たして可能なのか。

第5回 12月11日(金) 深尾 琢(岐阜大学 保健管理センター 教授)

## 教職員向け：心に悩みを抱えた人との関わり方

2013年に厚生労働省の五大疾病に加えられた精神疾患は、学生や教職員の健康にも大きな影響を与えています。特に学生を含む若い世代の死因で最も多いのは自殺であり、その予防は教育機関にとって喫緊の課題です。心に悩みを抱えた学生や同僚のために、私たちに何ができるのか、どのように関わるべきかを考えていくことは、実際の支援につなげていくための大切な一歩です。



司会：清島 絵利子(教育連携推進部会長/  
岐阜大学 教育推進・学生支援機構 准教授)

## 参加 申込方法

各回とも加盟機関を通じ参加希望者を募ります。  
今年度もオンライン(Zoomミーティング)で開催いたします。  
すべての回において、オンデマンドによる後日配信での受講も可能です。(事前申込必要)

